

校内の桜をはめとする花も咲き誇り、令和6年度が始まりました。

新年度を迎えるに当たって、学校スローガンである「世界で突き抜ける「小野高プライド」～次代を拓く人間力を育む～」ことを目指し、‘ONO Progress’として身につけて欲しい9つの力について改めてお話しします。

昇降口前の掲示板にも掲示されているので毎日目にしている人もいますが、「自分を拓く」ために必要な探究心、レジリエンス、課題解決能力、「世界を拓く」ために必要な俯瞰力、突破力、発信力、そして「笑顔が拓く」ための多様性、共創力、批判的思考力の9つです。どれも、これからの予測困難な時代を生き抜くためになくてはならない力です。

9つの力の中で、今日は「自分を拓く」ための3つの力についてお話しします。

探究とは、探して究めると書きますが、「探究心」とは、物事の本質を見極めようとする気持ちです。納得できる答えが得られるまで粘り強く調べたり、理解しようと努力する能力です。徹底的に調べることで、他の人が気づかない問題点や素晴らしい発見をする可能性があります。探究心が強い人は、何でも掘り下げて考えることができます。

2つ目のレジリエンスですが、「回復力」「立ち直る力」逆境やストレスの直面したときに適応する「精神的な回復力」ということです。困難なことや辛いことがやってきたときに、いかに早く回復するかがその後大きく変わってきます。レジリエンスの高い人の特徴として、ポジティブ思考、未来志向、コミュニケーション能力が高い、柔軟性が高い、事実を受け止め挑戦を続けるなどがあります。

3つめの課題解決能力は、難しい数学の問題を解く能力ではありません。「課題」とは、目標と現状のギャップのことを指します。このギャップを明確にして、ギャップを埋めるために解決策を立てる能力です。コミュニケーションを図ることや、目標設定をして自己評価するなど課題を洗い出すなどして身につきます。課題解決能力には、チャレンジ精神と失敗から学ぶ行動力、論理的思考力、自ら行動できる人材、仕事のミスやトラブルが減るなどで、本当に解決すべき課題を見極める能力と言われます。

まずは、自分を拓く、探究心、レジリエンス、課題解決能力を意識して、新年度をスタートしてください。

次に、本校の生活三原則についても、これまでも何度も聞いたことかと思いますが、少なくとも30年以上前から続いています。「時間厳守」ですが、時間に余裕を持てば気持ちも余裕ができます。今年度は8時10分にチャイムが鳴ります。余裕を持って登校して「朝学」をしっかりして1日のスタートを切ってください。

2つめの「挨拶励行」ですが、廊下ですれ違って、元気よく挨拶してくれる人もあれば、立ち止まって会釈をしてくれる人もいます。こちらから「こんにちは」と言っても黙って素通りの方は残念です。やらされるのではなく、自然に挨拶ができる人は、何よりも素晴らしいと思います。今できなければ社会人になってもできないと思

います。

3つめの「清掃徹底」ですが、大リーグのドジャースで活躍している大谷翔平選手は、高校生の頃より、「目標達成シート」を作っていた事は有名ですが、その中の「運」の項目に「ゴミを拾うこと」をあげ、習慣的に取り組んで、進んでトイレ掃除をしていたと言われます。ゴミ拾いや掃除は、誰かのためにするように思われますが、結局は自分のためになっています。良いことをしたという思いを感じ、それが心の余裕にも繋がり、自分の心に余裕があれば誰かのために心を使えるので、もちろん運やチャンスが巡ってくると言われます。

さて、小野市では粟生駅の北に位置している「おの桜つつみ回廊」の桜が全国的にも有名で今満開で多くの観光客が訪れています。しかし、普段は人が来ない山奥の桜を見て歌った歌があります。

「あれを見よ、深山の桜咲きにけり 真心つくせ 人知らずとも」ということばがあります。みやまとは深い山と書きますので、あれを見よ、こんな山奥でも素晴らしい桜の花が咲いているぞ。という状況です。桜は人に見てもらおうと思って咲いているわけではありません。人に知られなくても、真心すなわち誠意を尽くしていれば、必ず桜の花のような素晴らしい結果がかえってくる。という意味です。

先生が見ているとかは関係なく、「時間厳守」「挨拶励行」「清掃徹底」すべて自分のために誠意を尽くした行動に心がけてください。

昨日より今日、今日より明日、少しでも向上しようという心がけで充実した高校生活を送ってください。1日1日の積み重ねで、素晴らしい花が咲くかどうかが決まりますので、頑張ってください。

今日の午後には入学式が行われ、79回生の後輩達が入学してきますので、先輩として温かく迎えてください。よろしくお願いします。